

2年学年だより

東岐波小学校 11月号
2025年 10月31日

ようやく暑さが落ち着き、涼しく過ごしやすい季節になってきました。11月は、スタンプラリー集会、持久走大会、生活科「おもちゃランド」など…行事や楽しい学習がいっぱいです。様々な学習を通して、子どもたちが成長できる実り多い秋にしていきたいと思います。引き続き、ご協力をお願いいたします。

～お知らせとお願い～

○ 10月から、かけ算の学習に入りました。音読と合わせて、九九の練習も聞いてくださり、ありがとうございます。かけ算九九を確実に身につけることができるまで、繰り返し練習することが必要です。引き続き、毎日聞いて確認していただき、九九カードに記入していただきますようお願いいたします。

○ 今年の持久走大会は、11月27日（木）で、予備日は28日（金）です。女子→男子の順番で、女子が9:30スタートとなっています。応援よろしくお願いします。

また、持久走大会の練習（ジョギングタイム）が11月から始まります。2年生は、4日（火）、10日（月）、17日（月）、20日（木）の予定です。汗ふきタオルと水筒を持たせてください。必要な人は、着替えを用意されてもいいと思います。体調管理についても、よろしくお願いします。

○ 日が暮れるのが早くなりました。帰宅時刻は、10月より午後5時です。5時には家についているように、出かけるときの約束をもう一度確認してください。

○ 11月5日（水）は小・中の教職員が合同で研修を行う日となっています。全校13:00下校になっていますが、2-3・3-1・5-3は公開授業を行うため14:25下校の予定です。

人権教育参観では、「みんなと仲良くするために大切なこと」を考えました。これからも機会を捉えて話をしたり、実際の場面で指導をしたりしたいと思っております。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の取組に生かしていきます。（紙面の都合上、全部紹介ができませんがご了承ください。）

～人権教育についてのアンケートより～

- 「にじいろのさかな」を題材に、みんな同じ人間として助け合うことの大切さを子どもたちが自分たちの言葉で考えている姿が印象的でした。友だちの意見をよく聞き、自分の感じたことを一生懸命話す様子から、思いやりの心が少しずつ育っているのを感じました。これからもお互いを認め合い、助け合えるクラスでいてほしいと思いました。
- きらきらうろこを分けずに孤立した経験のあるにじうおが、きらきらうろこのないしましまが加わることによって生じた心の揺れがうまく現わされたお話だなと感じました。きらきらうろこで結束していた魚たちがしましまを受け入れたくない心情もわかるし、しましまを受け入れたらまた自分だけ仲間外れにされるかもしれない。だから、今はみんなの考えに同調しておこうときらきら仲間と行動を共にするにじうおの気持ちもわかります。このにじうおの心の葛藤と、勇気ある行動を、子どもたちが自分事としてとらえてくれたらいいなと思いました。
- 自分にとって大切なもの（うろこ）をあげてでも得る大切なものがあることを、授業を通して理解してもらえればと思う。
- 実際に声を掛けて困っている人を助ける行動は、勇気のいるものです。家族ででかけた際にそういった場面があれば親も行動し、背中を見せていきたいと思えました。
- 子どもたちには、人種・障害・文化・多種多様な生き物に対して思いやりのあるやさしい接し方や考え方をもち、生活してほしいと思っています。考えて行動することも大切ですが、差別のない生き方が当たり前であると自信をもってほしいとも考えています。
- 自分も仲間はずれにされたくないから良くないと分かっているけどみんなと一緒に仲間はずれをすることはやめようと家で話をしました。まずは、自分がされたらどうかを考えて行動できる子になってほしいと思いました。
- 子どもたちが相手の気持ちを考えることの大切さについて、真剣に話し合う姿が印象的でした。普段の生活の中でも、友だちの立場に立って考える力を少しずつ身につけてほしいと思いました。家庭でも、思いやりや言葉遣いについて話すきっかけにしていきたいです。
- 人権講演会では、私自身がハンセン病について、誤った見方をしていたことがわかりました。この誤った認識のままでいたら、この先もずっとハンセン病について誤解していたと思います。知らずにいることがどれほど人を傷つけているか。私たちはもっと真実を知るべきです。

たくさんのご意見、とても参考になりました。ありがとうございました。